日本女子大学
家政学部児童学科合格者の皆さんへ

このたびは合格、おめでとうございます。

入学までの日々を有意義に活用していただけるように、

児童学科よりブックリストをお届けいたします。

☆のついたものはぜひ、実際に読んでみてください。

絶版の本も一部含まれますが、図書館で手に取ることはできると思います。

これらは皆さんが大学に進学するにあたり、基礎となり

さらに深い学びを得るために役に立つ本となるでしょう。

読んだ内容を話題に、あなたの周りの家族や友達と話してみてください。

では、４月にお目にかかるときを心よりお待ちしております。

児童学科一同

２０２６年１１月

●ブックリスト●　精選版

大学での学び　入門編

『文章の書き方』辰濃和男　岩波新書

『文章のみがき方』辰濃和男　岩波新書

朝日新聞「天声人語」の筆者が解説する論理的で明晰な文章の書き方。

『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』戸田山和久　NHK ブックス

大学で求められる「レポート」とは何か、それを書くための基本的な心構えを楽しく解説。

『読書力』斎藤孝　岩波新書

本を読むことの意義は、そこから得られる力とは？自己形成に最も有用な手段としての読書のすすめ。

大学での学び　＋アルファ

『言語の脳科学：脳はどのようにことばを生みだすか』酒井邦嘉　中公新書

脳科学の見地から、言語を科学として捉えることで新しい見解を示す。

『ソロモンの指環』コンラート・ローレンツ／日高敏隆訳　ハヤカワ文庫

魔法など使わなくても動物の心はわかる―動物行動学者が説く、人間中心でない世界観。

『コンプレックス』河合隼雄　岩波新書

コンプレックスという言葉の正しい意味を定義、自我、ノイローゼ、夢、男性と女性、元型など、人間の深奥を解き明かすユング派心理学の書。

『民話の世界』松谷みよ子　講談社学術文庫

実際の昔話の採録・再話のフィールドワーク経験から民衆の物語として昔話を論じる。

大学での学び　教師・保育士になりたい人へ

『日本の教師に伝えたいこと』大村はま　ちくま学芸文庫

生き生きとした教室を作り出すために筆者が行ってきた実践を説く、教師志願者のための必読図書。

『人はいかに学ぶか』稲垣佳世子・波多野誼余夫　中公新書

「みずから学ぶ存在」としての人を実証的に描き、新しい学習理論を提唱。これからの教育者のための書。

『知的好奇心』波多野誼余夫・稲垣佳代子　中公新書

従来の学習理論とは違う、主体的な学習の可能性や、具体的方法論を示す。

児童学科での学び　子ども学入門

☆『ハンドブック　子どもの権利条約』中野光・小笠毅　岩波ジュニア新書

国際的に批准された子どもの基本的人権についての条約､まずはここから知ることを始めよう。

『保育者の地平：私的体験から普遍に向けて』津守真　ミネルヴァ書房

保育者、養護学校校長としての長年の経験から語られる、保育の真の基礎。

『幼児期：子どもは世界をどうつかむか』岡本夏木　岩波新書

発達心理学の見地から、世界を把握する第一歩は幼児期に形成されることを示す。

『子どもの社会力』門脇厚司　岩波新書

子どもの「人と人がつながる力」「社会をつくっていく力」としての「社会力」の意味と重要性を考える。

『子どもを選ばないことを選ぶ―いのちの現場から出生前診断を問う』大野明子　メディカ出版

出生前診断というテーマをめぐり、一つの考え方を示した著書。

『子どもの宇宙』河合隼雄　岩波新書

具体的事例はもちろん児童文学作品の中の子どもの行動にもふれ、心の問題を読み解く。

『異文化としての子ども』本田和子　ちくま学芸文庫

ステレオタイプな子ども観を脱し、異文化として捉えてみることから始まる子ども論。

『世界で読み継がれる子どもの本100』コリン・ソリター　原書房

長く読み継がれてきた子どもの本、アニメや映画化された作品、現代のダークファンタジーまで、100冊を紹介、作者や時代背景などを簡潔かつていねいに説明。

『ベーシック 絵本入門』生田美秋ほか　ミネルヴァ書房

絵本に関わるすべての人のために、美術、デザイン、文学、保育、教育から総合的にアプローチした本。

『子どもの発達格差』　2021　森口佑介（著）　PHP研究所

本書では、目標に向けて自分を制御する力「実行機能」や、他者を思いやる力「向社会的行動」の育ちの差が、将来の健康面や経済面にも影響を及ぼすと主張している。こういった「発達格差」の実態とその改善策を分かりやすく紹介した本。

人生を考えるために

『生きがいについて』神谷美恵子　みすず書房

女性として母として妻として医師として、苦しむ人々に寄り添いつつ生きた著者の、なぜ人は生きるのかと自問自答する記録の書。

『僕は、そして僕たちはどう生きるか』　梨木香歩　岩波現代文庫

森の中の旧家に集った少年少女たちの物語という形をとりつつ、生きづらいこの世界で自分らしく生きるにはどうすればいいのかを問う現代版「君たちはどう生きるか」。

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』ブレイディみかこ　新潮文庫

イギリスのもと底辺中学に通う「ぼく」を取り巻く人種・階級・ジェンダーの渦。かろやかに生き抜く日英ハーフの少年のリアルを、イギリスで保育士を務める母親が記録。